



# 完成後、政経の新中心地に

## 市庁舎・8億5900万円着工

# 明年11月から使用

## 教委・消防・議事堂を併設

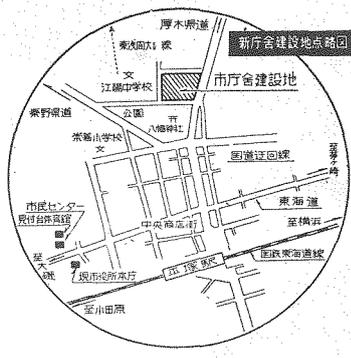
**結果は市民に還元される**

地方選おこつてへ

本市の地方選は、市長、市議員選挙は、四月三日(日)が選挙日である。投票時間は、午前七時から午後六時までの間に、別に配布する投票用紙を封入して投票する。投票所は、市選管選挙区ごとに、選挙区に指定してあるから、よくたしめ、投票用紙を封入して投票する。投票用紙は、市選管選挙区ごとに、選挙区に指定してあるから、よくたしめ、投票用紙を封入して投票する。投票用紙は、市選管選挙区ごとに、選挙区に指定してあるから、よくたしめ、投票用紙を封入して投票する。

本市の人口は、二十五万人に達するとの見込みである。市選管選挙区ごとに、選挙区に指定してあるから、よくたしめ、投票用紙を封入して投票する。投票用紙は、市選管選挙区ごとに、選挙区に指定してあるから、よくたしめ、投票用紙を封入して投票する。投票用紙は、市選管選挙区ごとに、選挙区に指定してあるから、よくたしめ、投票用紙を封入して投票する。

【設計と工事】新庁舎の設計は、建築事務所(東京)のもの。設計は、七月七日に入りました。庁舎の中心地となるのは、市選管選挙区ごとに、選挙区に指定してあるから、よくたしめ、投票用紙を封入して投票する。投票用紙は、市選管選挙区ごとに、選挙区に指定してあるから、よくたしめ、投票用紙を封入して投票する。



【転用規制を解除】大野土地改良区に指定されている土地は、三月十九日(日)に、転用規制を解除する。これは、大野土地改良区に指定されている土地は、三月十九日(日)に、転用規制を解除する。これは、大野土地改良区に指定されている土地は、三月十九日(日)に、転用規制を解除する。

【果樹立木の入賞者】三月十日(日)に、大野土地改良区に指定されている土地は、三月十九日(日)に、転用規制を解除する。これは、大野土地改良区に指定されている土地は、三月十九日(日)に、転用規制を解除する。これは、大野土地改良区に指定されている土地は、三月十九日(日)に、転用規制を解除する。

**納税窓口がお近くへ**

4月25日

- 須賀公民館
- 夕陽ヶ丘母子会
- 漁業協同組合
- 市南5分団庁舎
- 松原公民館

4月26日

- 諏訪町会館
- 市南公民館
- 花水公民館
- 花水公民館
- 海岸地区町会館

午前9時30分～午後4時

---

**38年度納期カレンダー**

4月 固定資産税 (第1期分)

5月 西部用水賦課金

6月 市南市民税 (第1期分)

7月 市南市民税 (第2期分)

8月 市南市民税 (第3期分)

9月 市南市民税 (第4期分)

10月 市南市民税 (第5期分)

11月 市南市民税 (第6期分)

12月 市南市民税 (第7期分)

1月 市南市民税 (第8期分)

3月 市南市民税 (第9期分)

---

**軽自動車税・固定資産税・都市計画税**

第1期分 4月30日まで

毎月納めるもの

- 消防水送料
- 保管所管理費負担金
- 保管所使用料
- 住宅使用料
- 国民健康保険料
- 国民年金





# 骨格予算・36億9700万円

## 平塚市開発公社(仮称)設立構想も

別項に説明した3月市議会定例会の第1日、3月13日に、戸川市長は、「4月に予定される市長、議会議員の改選期を考慮、昭和38年度予算は骨格予算をもつて編成し、投資的経費は義務的なものを計上するにとどめた。明年度以降の方策とそのための予算は、あらたに選挙によって住民の支持を得た新首長、新議員の理念にもとづいて決定されるべきである」とし、文字どおりの骨格予算として一般会計13億7400万円、特別会計(9会計の合算)23億2300万円、合計36億9700万円をこえる予算案を上げました。

### …科目別支出予算…

1 議会費	2646万円	1.9%
2 役所費	4億2802万円	31.2%
3 消防費	4265万円	3.1%
4 土木費	1億9158万円	13.9%
5 教育費	1億5181万円	11.1%
6 社会福祉費	8370万円	6.1%
7 保健衛生費	2億1264万円	15.5%
8 産業経済費	6323万円	4.6%
9 財産費	1826万円	1.3%
10 統計調査費	130万円	0.1%
11 選挙費	447万円	0.3%
12 公債費	3815万円	2.8%
13 諸支出金	1億1053万円	8.0%
14 予備費	150万円	0.1%
(合計)	13億7436万円	100%

◇**役所費関係**・4億2802万円……市役所運営費、市職員人件費などのほか、市庁舎建設事業費今年度分1億98万円、市民センター建設費今年度支払い分5500万円を計上

◇**消防費関係**・4265万円……消防費、消防団等の人員費、同運営費などのほか、消防団運営交付金112万円、消防施設維持補修費などを計上

◇**土木費関係**・1億9158万円……都市計画、街路整備、公園整備、治水堤防整備、道路、橋、川、排水路各維持補修費、渋田川改修期成同盟など14団体に対する交付金などのほか、馬入工業団地造成協力費第2年度分2225万円、下水路のフタ製作資材1万枚分200万円文化踏切立体交差本年度工事費のうち市負担分9955万円、震災土地区画整理事業負担本年度分の一部として1000万円、失業対策事業費4543万円、虹ヶ浜地内排水路改修130m分60万円、東浅間大島線測量委託料などを計上

◇**教育費関係**・1億5181万円……教委事務局、市立幼稚園、小学校中学校・商業高校・体育館・武道場・図書館・公民館・その他社会教育の人員費、運営などのほか、教育委員会奨学金149人分178万円、負担金46件、補助金29件706万円、市立学校維持補修費1099万円などを計上しました

◇**社会福祉費関係**・8370万円……生活保護、身体障害者援護、青少年保護育成、戦傷病者援護、精神者保護、保育園、母子寮、共同作業所、福祉事務所など各運営費、負担金8件、補助交付金18件などのほか、心配ごと相談室経費、老人クラブ育成補助15万円、防犯協会、街灯関係補助に94万円、市営住宅、愛の鐘など施設維持補修費に189万円を計上しました

◇**保健衛生費関係**・2億1264万円……伝染病予防、そ放虫駆除、狂犬病予防、結核予防、火葬場関係、プール関係、各種予防接種、そのほか、心配ごと相談室経費、老人クラブ育成補助15万円、防犯協会、街灯関係補助に94万円、市営住宅、愛の鐘など施設維持補修費に189万円を計上しました

◇**産業経済費関係**・6323万円……農業委員会、魚市場、商工業関係産業まつり、七夕まつり、公害防止、土地改良、農業団体関係などの運営費のほか、負担金23件、補助交付金29件、工場誘致奨励金3件1496万円、花いっぱい、商店街造成診断など各委託料13件215万円、中小企業金融対策資金預託金2000万円、真土暗き排水、馬入大野各土地改良事業補助金1636万円などを計上しました

◇**諸支出金関係**・1億1053万円……新市建設、安全都市、原水爆禁止納税貯蓄組合、美化運動、人権擁護、交通安全、労働まつり関係などを中心に、運営費、負担金補助金を計上したほか、県立商業高校設立期成会交付金本年度分3698万円、財団法人平塚市開発公社設立寄付金100万円、安全都市防犯街路灯設置30基分18万円、国保ほか5特別会計への繰り出し金4373万円などを予算化しました

◇**特別会計**……事業の性格上独立採算制をとる特別会計は、

今年度、農業共済事業会計と市民センター費会計を新設したため、つごう9会計となりました。特別会計予算の合計額は23億2318万円にのぼり前年度当初より3億1217万円の増、うち市民に直接関係のない競輪競馬の2会計をのぞくと、のこり会計で3億168万円となり、これに一般会計を加えると、対市民事業の今年度当初予算は16億7600万円となります。

### …会計別収支予算…

◇**競輪事業会計**・10億2559万円……競輪事業収入を財源とし、今年度競輪6回開催費のほか、施設改修自家発電新設工事、車庫倉庫新設工事などに701万円、事業収益として一般会計へまわす繰入金に1億3322万円などを計上しました

◇**競馬事業会計**・9億9589万円……競馬事業収入を財源とし、今年度川崎競馬2回開催費のほか、事業収益として一般会計へまわす繰入金に5913万円を計上しました

◇**国民健康保険事業会計**・1億437万円……保険税、国と県の交付金、一般会計からの繰入金を財源とし、国保の事務運営費、保険給付費などを計上しました

◇**国保診療施設事業会計**・221万円……診療代、一般会計からの繰入金などを財源に、成島診療所の運営費を計上しました

◇**簡易水道事業会計**・2110万円……水道使用料金、国県支出金、工事収入、簡易水道新設事業債を財源に、金目水道、旭水道、岡崎島水道、土屋上敷水道、吉沢水道の各運営維持管理費のほか、吉沢地区簡易水道新設事業費今年度分899万円などを計上しました

◇**都市改造事業会計**・5507万円……国と県の補助金、一般会計からの繰入金、都市計画事業債を財源に都市改造事業運営費などのほか、本宿、須賀北、須賀南各工区画地確定測量委託料287万円、本宿馬入同工区街路築造1000m、同測溝新設800m、同宅地造成5000m<sup>3</sup>、同路面工敷設工事5000m<sup>2</sup>、同街きよ新設1000mなどの土地施設整備費3835万円などを計上

◇**都市計画馬入工業地帯造成事業会計**・7548万円……日本住宅公団支出金を財源に、工業地帯造成事務運営費のほか、団地内街路舗装工事2600m、同管きよ布設640m、馬入1号線築造1390m、同舗装工事470m、北側通り築造353mなどに7058万円を計上しました

◇**農業共済事業会計**・2698万円……共済掛金、保険金、県支出金、一般会計からの繰入金、賦課金を財源に、農作物共済保険料と同掛金964万円、家畜共済保険料と同掛金1141万円、共済事務運営費などを計上しました

◇**市民センター費会計**・1644万円……市民センター使用料、一般会計からの繰入金を財源に、市民センター管理運営費維持修繕費を計上しました

◇**特別会計**……事業の性格上独立採算制をとる特別会計は、

…特別会計を設け、昭和38年度に運用開始する「市民センター特別会計」…「特別会計」…「特別会計」…

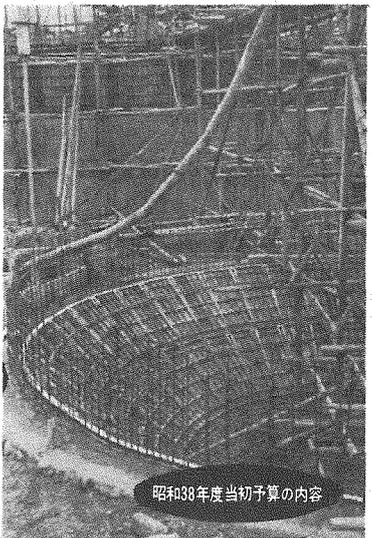
…特別会計を設け、昭和38年度に運用開始する「市民センター特別会計」…「特別会計」…「特別会計」…

…特別会計を設け、昭和38年度に運用開始する「市民センター特別会計」…「特別会計」…「特別会計」…

…特別会計を設け、昭和38年度に運用開始する「市民センター特別会計」…「特別会計」…「特別会計」…

…特別会計を設け、昭和38年度に運用開始する「市民センター特別会計」…「特別会計」…「特別会計」…

…特別会計を設け、昭和38年度に運用開始する「市民センター特別会計」…「特別会計」…「特別会計」…



昭和38年度当初予算の内容  
大神清掃作業所に増設中のし尿処理施設工事現場。池にはごみ焼却場の新設もすすんでいる

世帯ごと月額八十円、人員制(従来月二回)から発効し、世帯員一人につき月額千円、従来の山形県消防隊を担う▽特別会計・定額給付金に充てられた神奈川県消防隊平塚隊は、はるばる、火事や小規模災害の救助にあたりますが、災害対策本部が掲げる大災害のときは、同本部の指揮下にはいることになり、また、これと重複する、四半期ごと、三分分まで、市営管理費について特別会計を設けることと定め、初年度一千六百万円、月額の料金は、その余の特別会計予算決定し

…特別会計を設け、昭和38年度に運用開始する「市民センター特別会計」…「特別会計」…「特別会計」…

### 38年度各会計別予算額

◇一般会計	13億7436万円
◇特別会計(9会計)	23億2318万円
●競馬事業費	10億2559万円
●競輪事業費	9億9589万円
●国民健康保険事業	1億437万円
●国保診療施設事業費	221万円
●簡易水道事業費	2110万円
●都市改造事業費	5507万円
●馬入工業地帯造成事業	7548万円
●農業共済事業費	2698万円
●市民センター費	1644万円
◇以上全会計合算	36億9754万円

当初予算の財源として、前年度より16.5%の伸びを示す市税収入7億5845万円の(歳入総額の55%)を主体に、確実に見込みがたつた地方交付税・財産収入・分担金・使用料手数料等で1億191万円、国・県の支出金で1億9160万円、競輪競馬事業会計からの取



周囲には相模野のおもかげがのこら本館をみる、右・会館者休憩所

**人権擁護委員があなたの悩みを聞き出す**

次回(五月四日)午後四時～四時三十分

**無料法律相談** 毎月第1土曜午後1時 議事堂第2会議室





